

2. 地域の福祉活動を支援します。

学区地区社会福祉協議会の活動支援

(福祉コミュニティづくり事業：5,532千円)

鶴岡福祉センター

住民参加による地域福祉活動の基盤となる学区・地区社会福祉協議会等に活動助成金を交付します。
また、21学区・地区社会福祉協議会等の代表者により構成されている学区・地区社協連絡委員会と連携して各種情報交換会・研修会等を開催します。

【平成27年度助成金交付実績】

(単位：円)

No.	学区・地区社協名	助成金額	No.	学区・地区社協名	助成金額
1	第一学区社会福祉協議会	290,000	8	斎地区社会福祉協議会	230,000
2	第二学区社会福祉協議会		9	黄金地区社会福祉協議会	
3	第三学区社会福祉協議会		10	湯田川地区社会福祉協議会	
4	第四学区社会福祉協議会		11	大泉地区社会福祉協議会	
5	第五学区社会福祉協議会		12	京田地区社会福祉協議会	
6	第六学区社会福祉協議会		13	栄地区社会福祉協議会	
7	大山社会福祉協議会		14	田川地区社会福祉協議会	
			15	上郷地区社会福祉協議会	
			16	三瀬地区福祉のまちづくり協議会	
			17	由良社会福祉協議会	
			18	小堅地区社会福祉協議会	
			19	加茂地区社会福祉協議会	
			20	湯野浜地区社会福祉協議会	
			21	西郷地区社会福祉協議会	

【平成27年度情報交換会・研修会開催状況】

会の種別	開催回数(回)	延べ参加者数(人)
学区社協コーディネーター定例会	2	26
学区社協ヒアリング	5	34
学区・地区社協代表者情報交換会	1	35
学区・地区社協役員・コーディネーター等研修会	1	132

おだがいさまのまちづくり

誰もが安心して住み慣れた地域で暮らし続けていくために、小地域における支え合い・見守り等の福祉活動や、地域課題の「発見と対応」の仕組みづくりを支援し、住民主体の地域福祉活動の発展強化を図ります。

(おだがいさまのまちづくり事業：10,426千円)

各福祉センター

おだがいさまのまちづくり事業①

住民福祉活動への支援

学区・地区社協、町内会・集落等の自治組織、または、住民団体等を単位とした「住民主体」による地域福祉活動の充実を図るため、住民自らが地域の福祉課題に気づき、お互いに支え合えるような地域の構築を目指し支援します。

(実施主体)

地域福祉活動の充実に取り組もうとする学区・地区社協、町内会・集落等及び福祉団体等

(事業内容)

(1) サロン活動

高齢者や若者等の閉じこもり防止、子育て家庭や世代間等の交流、障がい者やその家族等の交流及び地域住民が集うためのサロン活動

(2) ボランティア活動

地域や個人の生活上のニーズに対応するボランティア活動の立ち上げや、地域住民が暮らしやすいまちづくり等のために行うボランティア活動

(3) 住民福祉座談会・地域福祉連絡会議

地域課題や地域ニーズ等について話し合う住民座談会、住民の支え合いを考えるための住民福祉座談会・地域福祉連絡会議の開催

(4) 人材育成

地域リーダーの育成や地域福祉活動を推進する人材・組織づくり

(5) 福祉研修・講座

地域福祉や健康づくり等に関する研修や講座等の開催

(6) その他、目的達成のための先駆的な地域福祉活動

先駆的な地域福祉活動や地域福祉型サービス等の開発・企画・運営を目的とした活動等

【助成内容】

区 分	助成金額	実施要件	対象経費
サロン活動	10,000 円以内	年 5 回以上開催	会議費、消耗品費、通信運搬費、諸謝金、旅費交通費、給食材料費、印刷製本費、水道光熱費、広報費、その他必要と認められる経費
ボランティア活動	10,000 円以内	年 2 回以上開催	
住民福祉座談会等	20,000 円以内	年 1 回以上開催	
人材育成	20,000 円以内	年 1 回以上開催	
福祉研修・講座	30,000 円以内	年 1 回以上開催	
地域福祉サービス等	35,000 円以内	新規事業実施の初年度 1 回	

※鶴岡地域の対象事業は、サロン活動及び住民福祉座談会等のみ。

【平成 27 年度の実施状況】

地 域	サロン活動	住民福祉座談会等	ボランティア活動	人材育成	福祉研修・講座	地域福祉サービス等
鶴 岡	140 ケ所	36 ケ所				
藤 島	20 ケ所	2 ケ所	1 ケ所	—	1 ケ所	—
羽 黒	10 ケ所	6 ケ所	1 ケ所	—	—	3 ケ所
櫛 引	3 ケ所	—	2 ケ所	—	3 ケ所	—
朝 日	7 ケ所	1 ケ所	—	—	—	—
温 海	—	4 ケ所	—	—	—	—

おだがいさまのまちづくり事業②

先進的な地域福祉活動への支援

地域の福祉力の向上のため、それぞれの学区・地区等の地域特性に応じた先駆的な地域福祉活動・地域福祉型サービス等を支援します。

(実施主体)

概ね小学校区単位に組織化された学区・地区社会福祉協議会、住民団体、地域福祉推進団体等

(事業内容)

- (1) 住民の生活課題・福祉課題に対応することを目的とした新たな地域福祉活動・地域福祉型サービス
- (2) 概ね小学校区単位の地域福祉活動計画づくりを目的とした活動
- (3) お茶のみサロン・福祉協力員等の小地域ネットワーク活動の推進を目的とした活動
- (4) 地域福祉活動を支援する人材・組織づくりを目的とした活動
- (5) その他、目的達成のため必要と思われる活動

(助成金額)

一事業につき 100,000 円以内

【平成 27 年度実施状況及び助成金交付実績】

(単位：円)

No.	団体名	活動名	助成金額
1	第一学区社会福祉協議会	ぼくたちわたしたちの町を知ろう	100,000
2	第二学区社会福祉協議会	救急安心カード事業	32,000
3	第五学区社会福祉協議会	地域福祉リーダー養成事業	100,000
4	第六学区社会福祉協議会	小地域見守り支え合い研修事業	100,000
5	湯田川地区社会福祉協議会	福祉防災マップの作成とひとり暮らしおよび高齢者世帯見守り支援活動	100,000
6	京田地区社会福祉協議会	地域高齢者安心環境づくり推進活動	100,000
7	加茂地区社会福祉協議会	加茂安心カード	100,000
8	湯野浜地区社会福祉協議会	湯野浜生き生き活動	100,000
9	大山社会福祉協議会	大山地区安心カード設置事業	100,000

おだがいさまのまちづくり事業③

おだがいさまネット活動の推進

モデル学区・地区社協において、支援を必要とする方に個別ネットワークを形成し、支え合いの仕組みづくりを行うとともに、ひとり暮らし高齢者等の緊急時に備える安心カードの設置を推進します。

【平成 27 年度の実施状況】

センター名	事業内容
鶴岡福祉センター	<p>①おだがいさまネット活動推進モデル事業 「おだがいさま見守りネット」（田川地区社協） 地区内の関係者や関係機関を構成メンバーとした「田川版おだがいさま見守りネット手引き作成プロジェクト委員会」の話し合いにより、地区住民や各種団体の見守り方法、緊急時の目安、相談窓口等をまとめた「おだがいさま見守りネットの手引き」を作成。全戸に配布し、会議や研修等にも活用 「おだがいさま支え合いネット」（第三学区） 有償の住民参加型有償サービスによる、除雪、ゴミ出し等高齢者の日常生活の困りごとをサポートする仕組みを構築。実施主体の「第三学区四団体連絡会議」は町内会連合会、民生児童委員協議会、コミュニティ協議会、社会福祉協議会で構成され、利用者やサポーターへの声かけ等の担当を各団体に振り分けて運営</p> <p>②安心カード設置活動 学区・地区社協等が実施主体となって 19 地区 3,728 人に設置。内 17 地区 3,493 人分の設置者名簿を消防本部に提出</p>
藤島福祉センター	<p>①ふじしま安心カードの設置 町内会、民生児童委員、包括支援センターふじしまの協力により実施 設置数 185 世帯</p> <p>②ふじしまつながり会議の開催 藤島庁舎市民福祉課、包括支援センターふじしまと連携し、福祉関係機関以外の民間事業所、医療機関等を対象にした会議を 11 月に開催</p>
羽黒福祉センター	<p>①緊急連絡カードの設置：設置数 331 世帯 521 人（ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯等） 民生児童委員の協力により実施</p>
櫛引福祉センター	<p>①安心カードの情報共有数：512 世帯 781 人</p>
朝日福祉センター	<p>①近所の支え合い 朝日あんしん見守り事業 上名川集落： 対象者 6 人、見守り隊： 訪問活動 305 回</p> <p>②黄色い旗運動 上田沢集落：61 世帯（全世帯）</p> <p>③安心カードの設置 230 世帯 333 人 28 集落実施（38 集落中） 民生委員児童委員と連携</p>
温海福祉センター	<p>①福祉連絡カードの設置 ひとり暮らし高齢者 376 世帯、二人暮らし高齢者 354 世帯、 高齢者のみ世帯 56 世帯、高齢者以外(障害者等)9 世帯</p>

おだがいさまのまちづくり事業④

人にやさしいまちづくり

高齢者や障がい者、子育て家庭などが、地域の中で安心して暮らすことができる環境づくりや、生活支援のために社協独自の福祉サービスを提供します。

＜主な取組＞ ※各福祉センターにより実施内容が異なります

チャイルドシート貸出し、子育てサポーターの養成、活字文書読上装置貸出し、青色駐車場整備、配食サービス（市補助・委託事業以外）、こころの健康づくり

【平成 27 年度の取組】

センター名	実施内容	実績等
藤 島	チャイルドシート貸出（16 台整備）	39 件
羽 黒	疑似体験（高齢者、視覚、聴覚、車イス等）	2 回
	音声コード入り広報紙の発行	4 回
	障がい者用駐車場（青色駐車場）の整備	4 ヶ所
	チャイルドシート貸出（50 台整備）	41 件
	こころの健康づくり講演会の開催	97 人参加
	ゲートキーパー研修の開催	97 人参加
櫛 引	子育てサポーター養成講座（6 回）	延べ 54 人参加
	チャイルドシート貸出（123 台整備）	233 件
朝 日	愛のふれあいコンサートの開催	100 人参加
温 海	チャイルドシート貸出（9 台整備）	15 件
	車イスの貸出（4 台整備）	22 件
	バラ園入口スロープ整備	

おだがいさまのまちづくり事業⑥

地域福祉の担い手の発掘・養成

小地域での見守り・支え合い活動を充実していくために、中学校区・小学校区エリアにおける地域福祉リーダーの役割を担う人材の発掘・養成を行う事業として、鶴岡市と共催で研修会を開催します。研修会は、鶴岡地域では小学校区をエリアとする学区・地区で、他の5つの地域では中学校区をエリアとする各地域を単位として、各地域特性や地域課題に合わせた内容をテーマにして実施します。

【平成27年度の取組】

研修名	主な内容	実績等
地域福祉リーダー養成研修	実施地域：朝日地域 講演「シニアが主役！見守り、支え合いで朝日をより元気に！」 話題提供「朝日の強み、かがやきクラブ」 グループワーク「どうする 見守り活動？」 講師・助言者：東北公益文科大学准教授 鎌田 剛氏	21人参加

おだがいさまのまちづくり事業⑥

福祉関係団体等への助成

福祉団体や当事者組織の活動を支えるために助成金を交付します。

主な助成団体：各地域老人クラブ連合会・身体障害者福祉協会・手をつなぐ育成会・民生児童委員協議会、鶴岡市母子会、鶴岡市婦人会連合会、鶴岡田川地区保護司会、鶴岡市民間保育園協議会、ボーイスカウト鶴岡市連合育成会

【福祉団体等への活動助成の状況】

地 域	26 年度		27 年度	
	団体数	助成金額 (円)	団体数	助成金額 (円)
鶴 岡	11	563,000	11	563,000
藤 島	9	365,000	9	365,000
羽 黒	4	210,000	4	210,000
櫛 引	3	65,000	3	103,000
朝 日	4	295,000	4	286,000
温 海	4	325,000	4	325,000

おだがいさまのまちづくり事業⑦

会食・配食を通じた仲間づくり

ひとり暮らしの高齢者の閉じこもり防止や栄養管理、地域社会への参加を進めるために、コミュニティセンター、公民館単位で会食会、配食サービスを提供します。

【平成 27 年度実施状況】

項 目	藤 島 (ふれあい給食)	温 海 (語らい広場)	温 海 (あったか弁当)
実 施 回 数	4	3	11
参 加 人 数	108	244	1,810

その他の地域福祉事業

(地域福祉運営事業：2,291千円)

地域福祉課・各福祉センター

住民の福祉に対する意識高揚を図るため、各種福祉研修会や社協事業を紹介する「福祉のつどい」や、相談支援に携わる関係者のコミュニティソーシャルワークを実践するための研修会を行い、地域福祉の推進を図ります。また、長寿者をお祝いし励みとすることを目的に、敬老の日に合わせ、鶴岡市と連携し「鶴亀番付」(相撲の番付風に長寿者を記載)を発行します。

【平成 27 年度実施状況】

	内 容 等
コミュニティソーシャル ワーク実践者養成研修 専門研修 [スキル向上研修]	開催期日 平成 28 年 2 月 5 日(金)～6 日(土) 参加人数：25 人(市、地域包括支援センター、市社協職員)
鶴亀番付の発行	発行部数：1,100 部 配布先：該当者、敬老のつどい参加者、公民館、 学区地区社協、福祉センター、高齢者福祉施設等

福祉バスの運行

鶴岡地区（福祉バス運営事業：4,763千円）総務課

藤島地区（福祉バス運営事業：1,157千円）藤島福祉センター

民生委員・児童委員、老人クラブ、心身障がい者、ボランティアなどの団体が県内での福祉に関わる活動や研修会に参加するとき、また郊外地の老人クラブが老人福祉センターに行くときなどに利用できます。

利用対象：鶴岡地区／旧鶴岡市区域に住所を有する個人又は団体が行う福祉に関する研修、高齢者・障がい者スポーツ、ボランティア活動等の事業

藤島地区／旧藤島地区内の民生委員・児童委員、老人クラブ、心身障がい者、ボランティア団体等

運行台数：鶴岡地区／2台（定員各28人）、藤島地区／1台（定員27人）

利用時間：午前8時30分から午後5時まで

利用料金：無料（ただし、駐車料・高速料金等は利用者が負担）

申込み：鶴岡地区／利用日の1ヵ月前までに総務課へ

※利用団体が多数のため年に2回抽選会を行っています。

藤島地区／利用日の10日前まで藤島福祉センターへ

【運行状況】

地域	年度	運行日数	運行回数	利用目的別運行回数内訳							延べ利用人数
				老セン等利用	研修会	各種大会等	視察研修	施設帰省帰舎	施設慰問	その他	
鶴岡	23	377	390	0	14	216	85	0	10	65	7,434
	24	392	402	0	29	264	62	0	9	38	7,997
	25	392	392	0	31	266	69	2	6	18	7,577
	26	390	390	0	30	265	68	1	8	18	7,430
	27	399	399	0	19	284	82	0	5	9	7,570
藤島	23	153	154	82	6	12	39	-	-	10	2,504
	24	123	126	77	21	8	-	-	-	20	2,295
	25	141	147	95	17	8	-	-	-	27	2,373
	26	137	138	77	3	8	16	-	-	34	2,108
	27	117	117	57	3	6	12	-	-	29	1,603

地域福祉センターなえづの施設開放

(地域福祉センターなえづ管理事業：302 千円)

地域福祉センターなえづ

地域の皆様の研修や福祉活動の拠点としてご利用いただけるように施設内の研修室を開放しています。

利用対象：福祉のために活動する方・団体

利用時間：午前 8 時 30 分から午後 9 時まで

利用料金：無料

申込み：地域福祉センターなえづ ほなみ町 3-1 TEL：25-9255

【年間利用状況】

年 度	第 1・第 2 研修室	
	回 数	人 数
23 年度	85	980
24 年度	104	1, 187
25 年度	108	1, 301
26 年度	101	1, 227
27 年度	113	1, 301